

ドボジョですが・・・

本庁支部

(公財)福岡県建設技術情報センター

大谷 裕美

はじめに

近年ドボジョ（土木系女子）やらリケジョ（理系女子）やら、古くは男性が多数を占めていた業界にいる女性に対する愛称について、皆様少なからず1つや2つ程は耳にしたことがあるかと思います。

会報を書かせていただくにあたり、折角ですのでドボジョ的視点から土木について語る…ということも考えましたが、非常に残念なことに土木を語るにはまだまだ未熟者でしたので、近年非常に興味をもっている歴史について、つまりレキジョ（歴史好き女子）的視点から、今まで行った歴史的建造物について印象に残っている場所を紹介したいと思います。（端的に言えばただの旅行記です）

熊野

まずは平安好き女子ならば一度は行ってみたい熊野古道。

熊野古道は紀伊半島に位置し、熊野三山と呼ばれる熊野本宮・熊野速玉大社・熊野那智大社へと通じる参詣道の総称です。平安時代中期頃から皇族や貴族が相次いで参詣を行うようになりました。様々なルートがあり、難易度も様々。（現在平安衣装を着て古道を歩くコースもあるようです。）世界遺産にも登録されています。

当時、熊野で読まれたという和歌がいまもなお残っています。

私が少しかだけ歩いたルートは石畳のルート（写真1）で、初心者コースでしたが日頃から運動不足という事と時間的猶予が無い事もあり、結局熊野三山には車で行きました。平安時代の人々はそういった選択肢も無い中で歩いていたと思うと、現代に生まれた有り難みを感じます。

熊野三山の中でも印象に残るのは那智大社。というより那智大社付近にある「那智の滝」。落差が300m以上あり一段の滝としては落差日本一。ということで、楽しみにしていた1つでした。

行ってみると・・・那智の滝は工事中でした。（写真2）

道中は立派な工事用仮設道路が設置されておりました。那智の滝とクレーン車を同時に撮影できるという貴重な体験ができました。



写真1 熊野古道



写真2 那智の滝とクレーン車

宮島（厳島神社）

平安時代で忘れてはならない宮島の厳島神社。言わずと知れた広島県にあります。安芸の宮島・もみじ饅頭が有名ですが、歴史的には平清盛ゆかりの土地として有名です。戦国時代が好きな方は毛利元就ゆかりの土地として思い浮かぶのではないかと思います。日本三大奇襲戦の一つである厳島の戦いの戦場となった場所です。その戦の後、血で汚れた社殿を潮水で清める等して毛利元就は聖地を汚したことを詫びていたそうです。この話を聞いて、どれほどの神秘的な場所かこの目で見てみたいと思っていました。

境内は海上社殿であり目の前に広がる瀬戸内海。背後に広がる弥山と融合した神秘的な姿。この寝殿造りは平安時代の貴族が好んだ様式だそうで、世界文化遺産に登録されています。

宮島の建築物について語るならば、何ととっても誰もが知る大鳥居かと思えます。私が行った時は丁度干潮時でしたので、歩いて寄れるだろうと期待に胸を含ませに行ってきました。けれどなかなか姿を見せてくれません。周囲を隈無く見た結果・・・大鳥居改修工事中でした。（写真3の奥に写っているものこそ大鳥居です。）確かに、周囲とは何か違うオーラを放っていました。



写真3 これが大鳥居

まとめ

振り返ってみれば、私が行く旅行先では工事中であることが多いです。京都旅行に行けば金閣寺が補修工事中でしたし、3年前から毎年神戸へ行く機会があり、それならば兵庫県にある姫路城に行きたいと思っているのですが、平成の大改修工事中のため毎年断念。（といっても見学はできるようです。）長崎稲佐山に夜景を見に行けばロープウェイが工事中。皆様旅行の際には事前にしっかり調べておくことをおすすめします。（当たり前ですが）普段は工事を行う立場ではありますが、工事が人々に与える影響というものが如何に大きいか身を持って痛感します。

以上取り留めも無い雑文で、結局レキジョの話はあまりできませんでしたが、日常多忙な皆様の気休めに少しでもなっていれば幸いです。